

- ◆企画名 春学期キャンパスツアー
 日 程 2017年3月29日(水)
 場 所 関西大学千里山キャンパス
 参加者数 63名(ピア・サポータ5名、研修生4名、留学生54名)
 目 的

2017年4月からの新入生でキャンパス内の施設について分からず困っている留学生に、キャンパスを案内することを通してよりスムーズに大学生活を始めもらう。また、KUブリッジのイベントを紹介し、今後の活動への参加を呼びかける。

内 容

- 10:40 挨拶、グループ分け。
 10:45 キャンパスツアー開始。(所要時間45分)
 11:30 全グループが図書館前に集合し、記念撮影後参加者は解散。
 任意参加で希望者のみ凧風館へ誘導し昼食をとった後、第2学舎1号館4階へ誘導。
 13:00 ピアエリアにてフィードバックを行い、解散。



効 果

留学生がよく利用する施設について理解してもらえた。また、本企画はKUブリッジスタッフと留学生のファーストミーティングの場であるため、コミュニティの活動を知ってもらう機会にもなった。

改 善 点

- ・どこで授業が行われるか(特に日本語の授業)を調べておいて伝えるようにすべき。
- ・日本語も英語もあまり理解できていない人への対応に困った。
 →ツアーが始まる前に資料を渡しておく。(ルートを絵でわかりやすく示したもの、または公式マップの配布があればなお良い。留学生の手元にあるかを国際部に確認し、無い場合は事前に手配を依頼する。)
- ・交換留学生は、何学部で何を勉強するのかをスタッフが把握しておらず案内で戸惑った。
 →国際部に事前に確認しておく。
- ・凧風館の場所や用途が曖昧で、案内に戸惑った。
 →KUブリッジスタッフがあまり使わない施設については事前にチェックしておく。
- ・食堂に大人数で突然向かうことになってしまった。
 →事前に食堂に利用を伝えておくべき。
- ・突然の時間変更がスタッフに周知されておらず、事前の打ち合わせが全くできなかった。
 注意事項の確認・台本の読み合わせ・必要な情報の共有・準備物の配布などがなされないままにスタートしてしまった。
 →国際部の事前のプログラムが早く終わってもKUブリッジの準備を待たず早く始めることの無いように、イベント最中の国際部とKUブリッジの連絡はもっと綿密に行う。

感 想

来年度春学期もたくさんの留学生を関大に迎え、新しい国際交流が広がると思うと、KUブリッジとして彼らの日本での学生生活が有意義なものとなるようにサポートしていきたいと思った。